

その他のテーマ

前掲の諸研究テーマには含まれていないが、各大学等で入試研究上重視している事項として、入試及び追跡調査の情報処理、入試に関する情報及び文献の収集と調査などがあげられる。

(1) 入試及び追跡調査の情報処理

各大学・学部の入学定員・志願者数の増加や入学者選抜方法の多様化に伴い、入試及び追跡調査の電算処理化が各大学で急速に進められてきており、国立大学では95%が電算機を使用している。

入力データとしては、志願者カード、志願者の属性、受験状況、共通1次試験の成績、第2次試験の結果、高校調査書の成績、健康診断の結果、入学辞退、補欠合格等があり、入学者選抜時の合否判定資料に用いられるほか、入学後

の成績等の入力データと併せて追跡調査にも利用されている。

データの処理については、「基礎統計量（平均、標準偏差等）」、「度数分布」及び「2変量間の関連分析」が、ほとんどの大学で実施され、選抜方法研究に役立てられている。

その他、電気通信大学・九州工業大学では、処理システムを開発して入学者の経年変化等をも調査している。

(2) 入試に関する情報及び文献の収集と調査

新聞・雑誌等に報道された入試情報を収集して大学入試に対する社会の期待などについて検討するとともに、入試関係文献の収集と調査が行われている（山梨大学、大学入試センター）。